

月刊

利根日石新聞

第000186号

発行
利根日石株式会社 TEL:0278-24-1635
本社販管管理課 FAX:0278-23-7980

2009年11月1日創刊 令和7年3月号

March 3月

利根日石(株)へ入社し、1年が経過しました。昨年は、定額減税や短時間労働者の方も社会保険加入等、新しい制度やインボイス制度のこと等、入社してばかりで不慣れな上に覚えなければいけないことが沢山あって、勉強勉強の毎日でした。特に、定額減税については、国でも初めてのことで、そして1年間だけのことだったようで...ただただ設定するのに頭を悩ませ、複雑だったように感じました。調べようと思っても、まだ正式に決まっていなかったり、資料もなく...国税庁のHPにも載っていないなど、どうにもできずモヤモヤした日もありました... 1年があつという間に過ぎたように感じます...!! まだまだ覚えることが沢山あって、周りの皆さんにフォローしていただきながらの日々ですが、便利なデジタルに頼りすぎず、活用できる部分は活用していったら良いなと思います。と、言いつつもすでにスマホやPCに頼りすぎていてこの新聞を書いている今も、字を忘れていて書けなくなつていて...ヤバイことに気が付きました...笑

久しぶりの利根日石新聞になります。沼田インター店のトマルです!
私は、SNSで馬のレースを見てからとても馬にハマっていて、昨年は引退した競走馬に会いに北海道まで行ってきました。

特に、ゴールドシップ・ドララメンテ・利根沼田地区の方には馴染みの深いミスターシービーが好きで、最近ではケルムセンターのUFOキャッチャーで

大きな馬のぬいぐるみを取ることにハマっていて。

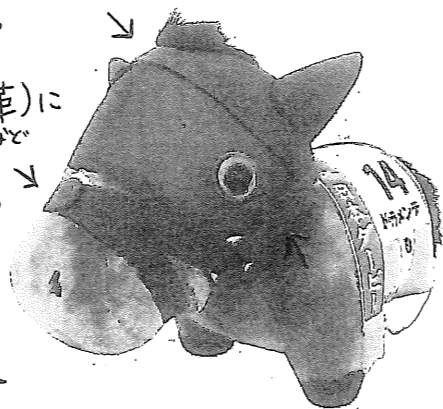


ぬいぐるみの現物もあるのぞ! ぜい沼田インター店まで!

Get するコツは...

顔のバンド(額革・頬革)に
クレーンのツメを
ひっかけることです。

運がイと1回で
取れることもあるので、
見かけた方チャレンジして
みて下さいね♪



守りたい未来があるから火の用心

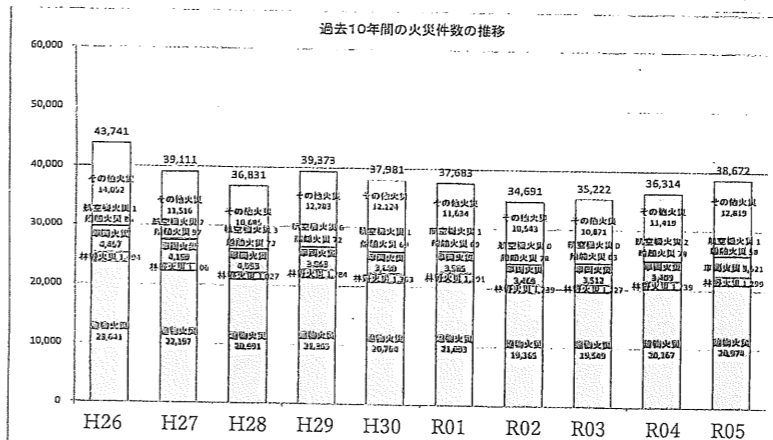
3月は春季全国火災予防月間です。毎年3月は1年で最も火災の多い月です。岩手県大船渡では大きな山火事が起きています。長野の上田市や山梨県でも新たに発生しています。春が訪れてやわらかい。また、空気が乾燥する中で野焼きが行われるこの時期は特に火の扱いには注意しましょう。

ちなみに今年度の防火標語は「守りたい未来があるから火の用心」です。毎年、その年に関係したワードを取り入れたものが多いですが、昨年度から「未来」という抽象的という言葉、普遍的なワードが続いて可(ひょっとして選者の間で、ウクライナやパレスチナで続く戦争を危ぶんで、という事かも知れません)

過去の標語は

- ・2023年度「火を消して 不安を消して つなぐ未来」
- ・2022年度「お出かけは マスク戸締り 火の用心」
- ・2021年度「おうち時間 家族で点検 火の始末」
- ・2020年度「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」
- ・2019年度「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」

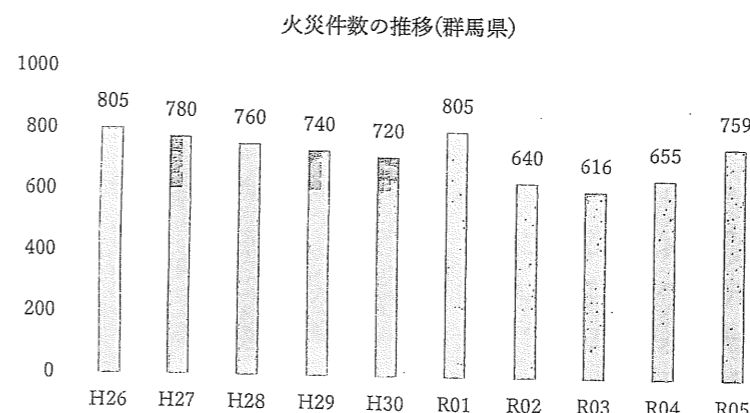
さて、総務省消防庁が昨年11月に発表した令和5年の消防統計によれば、全国の総出火件数は38,672件で、前年より2,358件(6.5%)増加しています。過去10年の火災件数の推移を見ると、コロナ禍の始まる令和2年までおおむね減少傾向にあり、特に令和2年はコロナ禍による外出制限で、自宅でのいわゆる「おうち時間」が増えたせいか、統計の残る過去のデータの中で最も少ない火災件数となりました。しかし、その翌年から増加に転じ、



徐々に増加幅も増え続け、令和5年はついに、コロナ禍前の令和元年を上回ってしまいました。

群馬県内の火災件数は759件で前年より104件(15.9%)増加しています。コロナ禍までは減少、その後は増加する傾向は全国と同じです。

(上下とも令和5年 消防統計より転載)



全国の出火件数での原因の第1位は「たばこ」です。次いで2位が「たき火」、3位が「火入山」となっていますが、群馬県では第1位が「たき火」、2位が「たばこ」、3位が「火入山」となっています。

落ち葉が多く、たき火を行う機会が、都市部に比べて多い事、また田畑が多く、野焼き(火入山)を行う機会が多い事が背景にあります。

思い出の語ったマイホーム、こころもお子さんやお孫さんとも思い出を結んでゆく大切な場所を焼失させない為にも改めて「火の用心」を見直す月にしていきましょう。